

「防災研究セミナー ～雪対策～」開催

■ はじめに

平成14年12月5日 北海道技術士センター 防災研究会（会長 高宮則夫・副会長 松井義孝）では、「防災研究セミナー ～雪対策～」を北海道開発土木研究所において開催しました。

防災研究会では、第Ⅳ期研究テーマを「都市型防災」として、

情報系部会（加治屋部会長・森幹事）

地盤系部会（高橋（輝）部会長・北幹事）

交通系部会（桑田部会長・木村幹事）

都市系部会（高橋（徹）部会長・立石幹事）

水工系部会（瀬川部会長・渡辺幹事）

の5部会を中心とした研究活動に取り組んでいます。本セミナーは、その研究活動の一環として、特に冬季防災に関する知識を得るものです。

冒頭、高宮則夫防災研究会会長より、防災研究会の活動内容・セミナーの主旨説明の開会挨拶があり、引き続きセミナー講演に入りました。

■ セミナー講演会

セミナーは、冬季防災研究に関する2テーマの講演で、講演テーマ1は「鉄道（JR北海道）の豪雪対

策」と題して、北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業部 構造エンジニアリング 小西康人氏より、講演テーマ2は「航空関係の豪雪対策」と題して、応用地質株式会社 札幌支店 技術顧問 増田博昭氏よりそれぞれお話をいただきました。

講演テーマ1の概要は、JRの雪対策の現状を中心に、それに対する以下に示した具体的防雪システムの内容でありました。

1. JR 雪被害状況
2. 除雪管理システム
3. 降雪時運行計画
4. ポイント確保
5. 電気融雪・ヒーティング対応
6. 踏切除雪体制
7. 吹きだまり対策

また、講演テーマ2の概要は、新千歳空港を事例にした空港降雪対策の管理システムに関する、主に以下の内容でした。

1. 除雪期間・面積設定
2. 除雪車両・監督体制
3. 対象区域・優先順位
4. 運行基準



写真-1 テーマ1講演者 小西氏

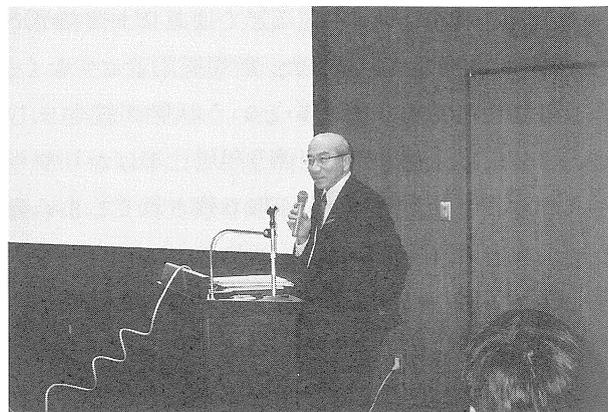


写真-2 テーマ2講演者 増田氏

5. 除雪精度

講演終了後、各10分程度質疑の時間を設けましたが、活発なディスカッションがなされました。その中で特に、JRポイントの優先性や飛行機の降雪時の運航決断はパイロットの技量にも深く関わっているという話が非常に興味深いものでした。

JR・航空さらに道路、これらはネットワークで連結されているものであり、防災研究のためには全てを関連づけた考察の必要性を強く認識させる「防災研究セミナー」であったと考えています。

■ 情報交換会

セミナー終了後、会場をかえて情報交換会が催されました。防災研究会（前）会長 能登繁幸北海道開発土木研究所理事の開会乾杯で始まり、途中でも

出席者全ての方々に近況報告をしていただき、最後まで和やかな懇親深まる情報交換会でありました。

■ おわりに

防災研究会では、今期「都市型防災」を研究テーマのベースとして、今後も技術士が社会に果たす役割を念頭に、防災に関する認識向上の視点から5つの専門部会の研究を中心に、講演会・研究セミナー・シンポジウムなども含め広く研究活動を進めていきたいと考えております。

なお、防災研究会では今期の研究活動の取りまとめとして、4月頃に小冊子の発刊を予定しています。近くセンター会員皆さんの手元にも届くものと思いますので、宜しくお願いします。

（文責：防災研究会幹事長 富澤 幸一）